令和6年度　事業報告　　施設名　　小規模保育園六甲道

事業年度	定員(人)			児童数(延人数)			充足率(%)		延長保育利用人数（延人数）				一時保育	園庭開放他
									30分延長	1/1.5時間延長	2時間延長	日割り	(延人数)	(延人数)
令和5年度　事業報告	19 人	1号		193 人	1号		1号		3 人				276 人	0 人
		2,3号	19 人		2,3号	193 人	2,3号	85 %						
令和6年度　事業報告	19 人	1号		207 人	1号		1号		0 人				42 人	0 人
		2,3号	19 人		2,3号	207 人	2,3号	91 %						
ヒヤリハット　A(危険度重)B(危険度中)C(危険度軽)				事故報告　(受診を要した件数)					要望・意見・苦情　報告					
A：　4件　　B：　13件　　C：　1件				0件					要望：　1件　　意見：　1件　　苦情：　1件					

方針	基本法	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の尊重		≪教育・保育理念≫ 同朋福祉会創立者江川義清の「人は大切。子は宝」の理念をもとに、乳幼児を保育する中、人間尊重と子ども第一主義で子どもの最善の利益を追及し、積極的に福祉の増進を図る	・人権擁護ﾁｪｯｸﾘｽﾄ実施(年2回) ・虐待ﾁｪｯｸﾘｽﾄ実施(年3回) ・おうちのような雰囲気と、主体的に遊べる環境作り ・主体性を尊重し、一人一人の思いを受容する ・養護を大切にした保育を実施 ・季節に合った絵本を準備	・各ﾁｪｯｸﾘｽﾄ済。不適切な保育の具体例を学び、職員間で意識の共有を図った ・子どもの発達、あそびの内容に応じた環境整備 ・一人一人との触れ合いを大切にし、信頼関係を構築した ・絵本の定期的入替と充実化実現	・職員で不適切保育について話す頻度が増えた。保育しづらい等の声が特にベテランの保育士から上がっている ・おうちのように安心して過ごせる環境を提供できていた ・係が率先して用意できていた	・ﾁｪｯｸﾘｽﾄ継続的実施。課題が挙がる度に関わり方のﾙｰﾙ決めを行う 人権擁護にかかる研修に参加する ・可動式棚の購入や手作り棚を活用し、保育室にｺｰﾅｰを設け、落ち着いて過ごせるようにする ・係を継続し、各自が責任を持ち役割を果たせるようにする
サービスの質の向上		・子ども、家族の支援 ・説明責任の徹底	・送迎時、笑顔で一人一人の保護者と丁寧に関わる ・保護者参加行事実施　(年8回) ・ｱﾝｹｰﾄで保護者のﾆｰｽﾞを把握　見直し、改善、返答、周知 ・保育風景のﾀﾌﾞﾚｯﾄ掲示 ・3歳児以降の卒園に向け、適切な支援や説明をする ・重要事項説明会を実施 ・引継ぎ書の作成	・伝言ﾉｰﾄを活用し丁寧に漏れなく対応した ・予定通り実施済 ・遠足について昨年のｱﾝｹｰﾄ結果を参考に行先を決定した ・保護者向けに保育風景等をﾀﾌﾞﾚｯﾄにて毎日にてｽﾗｲﾄﾞした ・卒園後の行先について、相談に乗り引継書作成。連携枠に希望した園児全員が入園できた	・報告事項だけでなく、日々の様子を伝え継続的な信頼関係が構築できた ・行事を継続して行うことで、昨年と比較し子どもの成長を喜ぶ保護者の声が多くあった ・今日の写真には我が子が映っていないと言われる保護者もいた ・卒園に向けて、様々な園の情報共有を保護者と行なえた	・日中を共に過ごす職員が送迎時に対応できるのは小規模のﾒﾘｯﾄの為、密に連携を図り、信頼関係を構築する ・例年4月1日に行う入園式を簡素化する。入園式は慣れない場所で慣れない大人に囲まれ、年齢に合った行事でない為。 ・保育風景は行事の際に限定し、職員の負担減を図る ・2028年5月31日にて賃貸借契約満了なる。情勢を踏まえ、契約更新や期間について検討する
地域との共生		・地域に開かれた施設 ・子育て支援	・地域清掃、公園の安全ﾁｪｯｸ実施 ・ｲﾝｽﾀｸﾞﾗﾑ投稿(月1回) ・地域開放実施 ・姉妹園との合同保育を計画 ・一時保育の実施（年間150名）	・戸外活動時、公園の安全ﾁｪｯｸ、清掃を毎回実施 ・ｲﾝｽﾀｸﾞﾗﾑ投稿数年29回 (R5と比較しﾌｫﾛｰﾜｰ47名増) ・地域開放は配慮が必要な園児が多く通常保育と並行して行えなかった ・計画的な合同保育実施(週1) ・一時保育利用者減(R5と比較234名減)	・公園の環境改善に繋がった ・玄関や夏祭りのうちわにQRｺｰﾄﾞを掲示 ・集団生活の充実化、職員の事務時間確保に繋がった ・配慮が必要な園児への対応で職員の余裕がなく、減となった	・積極的に参加し地域との関係を深める ・担当者をフォローする役割を設け、負担が偏らないようにする ・平日でなく土曜日の園開放実施を行う ・一時保育の積極的受入れを継続し入園に繋げる
人材育成		・職員の質の向上 ・働きやすい環境づくり	・たんぽぽとの合同会議(月1回) ・園内研修を実施(月1回) ・ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ研修を受講、周知 ・AED講習受講 ・管理者との面談(年2回) ・就業規則、行動計画の周知 ・無期雇用職員への転換の促進 ・小規模保育園合同行事の実施	・各園の状況共有と研修を合同で実施 ・進捗の振り返りと次年度に向けた改善点等を話しあった。今後の運営について情勢を踏まえ話した ・AED講習　(常勤職員受講) ・定員+α保育士1名を維持 ・自身の役割に責任を持ち果たせていた ・4月や法改正のﾀｲﾐﾝｸﾞにて周知した ・主任の配置転換に伴い、面談や日々の対話で課題を挙げ改善した ・合同行事　年5回実施	・合同で行うことで、活発な発言が見られ良かった ・園児の確保の為にするべきことを理解し取り組めた ・定数+α職員確保で、事務時間の充実化や姉妹園へのヘルプへ多数派遣できた ・行事を合同で行うことで、準備物等を各園で割り振る為、業務省力に繋がった	・短時間職員は、会議に出る機会が少ない為、時間をずらす等して1度は参加する ・情勢を踏まえ「選ばれる園」や需要について意見を出し良い運営に繋げる ・資金に余剰がある際は、職員を定数+α で確保するが、同時に時間の使い方に無駄がないようにする ・面談だけでなく日々の対話を大切にし、職員の思いを捉え運営に繋げる ・合同行事を継続し、業務省力を徹底する